

動物実験「擁護」

日本で初の団体

学術会議など発起人

動物実験の適正な推進を図るため、研究機関や製薬業界、実験動物生産者などが、近く連絡協議会を立ち上げるようになった。動物実験擁護を掲げる団体は、

日本で初めてだ。

06年6月施行の動物愛護管理法には、動物実験の国際理念3R(実験動物の苦痛軽減、代替法の活用、使用数の削減)が盛り込まれた。これを受け、連絡協議会は適正な実験を進めることで、動物実験に対する市民の理解を得ることを目的

とする。発起人には、日本

学術会議、全国国立大学医学部長会議、国立大学動物実験施設協議会、日本生理学会、日本神経科学学会、日本製薬工業協会、日本実験動物学会、日本実験動物協会の8団体が名を連ねる。準備委員会を作り、年内にも普及啓発用ガイドブックの作製に乗り出す。

米国には、科学研究における人道的で責任ある動物の利用を支援する生物医学研究基金(FBR)などの団体がある。連絡協議会はこうした欧米の組織との連携も目指す。(清水弟)